

中国浙江省 天候の影響でマンダリン収穫量が大幅に減少

[FreshPlaza 2024年10月18日](#)

裏年と悪天候により、今シーズンは中国浙江省台州市で生産される臨海マンダリンの生産量が大幅に減少した。台州嘉盛生態農業有限公司の馮氏は、「生産量は不作だった2年前と同様で、豊作だった昨年と比較すると50%近く減少した。過去4、5年で、多くの柑橘類産地で隔年結果がより顕著になっている。果樹の栄養的な要因に加えて、気候変動も大きく影響している」と述べた。(以下「」は同氏の話)

「今年、台州市の産地では、開花期と着果期に大雨が降り、着果と果実の表面の品質に影響を与えた。その後、高温と台風の影響で日焼けや裂果が発生し、収量がさらに減少した。幸いなことに、シーズンの終わりにかけて天候が回復し、果実の酸度の低下が加速した。味は昨年よりもさらに良く、現在のブリックス値は最高で概ね13に達する水準である。」

「生産量の減少により農場出荷価格が上昇し、大玉の果実は近年に比べて30%高く取引されている。11月に収穫される予定の小玉の果実は、まだ値決めを待っている。」特にこの地域の臨海マンダリン、中でも小玉と中玉のものは、甘みと風味に優れ価格がより高い。

「価格の上昇は市場の需要に影響を与えており、販売は鈍化している。弊社の製品は、中級品～高級品に位置付けられ、過去2年間は課題に直面してきた。市場の変化に適応するため昨年はオレンジ果汁飲料を開発し、今年は多様な市場ニーズに対応するため、より手頃な価格のブランドを導入した。」

同氏は、主力ブランドである「東海爆橘」が地元臨海市の高品質な果実を引き続き使用し、当初の基準と位置付けを維持していると詳しく説明した。一方、新しいブランドは全国の様々な地域の産品を調達している。「マンダリンは中国の柑橘類生産に大きなシェアを占めている。一部の地域では、天候に恵まれ生産コストが低いため、より美味しく、より費用対効果の高い果実が得られる。また、全体的なコストを削減するために、パッケージ、仕様、規格も調整した。」

「弊社ではこの新商品のラインをブランドとして管理しており、差別化を図るために、果実の大きさではなく、酸味と甘さのバランスに焦点を当てている。」

また、果樹園と工場の両方で機械化の水準が向上した。「過去2年間で、果樹園でのドローン管理を最適化し、新しい工場を建設した。果実の選別に引き続き近赤外線技術を使用するとともに、人件費を削減し、スペース効率を最大化するために、段ボール箱を流すベルトコンベヤを追加した。これらのイノベーションは、当社の中核的競争優位性の強化に役立つ。弊社は常に新しい可能性を模索している。」

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

中米グアテマラとベリーズで台湾の衛星技術がバナナの病害と戦う

[FreshPlaza 2024年10月18日](#)

台湾宇宙機構(TASA/台湾国家太空中心)の専門家達は、グアテマラとベリーズのバナナとプランテイン(調理用バナナ)を危険にさらすフザリウム菌熱帯株4(TR4)に対処するために衛星技術を利用している。この取り組みは、グアテマラで開催された2024年応用技術国際フォーラムで取り上げられ、衛星リモートセンシングの病害モニタリングへの応用の様子が展示された。

グアテマラとベリーズをはじめとする中米諸国は世界有数のバナナ輸出国であるが、最大100%の収量の損失を引き起こす可能性のあるフザリウム菌TR4の大きな脅威に直面している。

TASAの張麗玉衛星データグループ副主任は、この取り組みにおけるFORMOSAT衛星5号機の使用について詳しく述べた。FORMOSAT-5は、植物からの近赤外線の反射を測定することで、作物の健康状態と生育の評価を支援する。この技術は、3年以上にわたり、両国でのフザリウム菌TR4の拡散を効果的に管理し、バナナの病害虫と戦うための衛星分析の新たなベンチマークを打ち立てた。

出典: [Channel 5 Belize](#)